



碧南ロータリークラブ週報

第2584回例会 平成24年2月29日(水)

● 会長 石川 春久 ● 幹事 平岩 辰之 ● 会場監督 (SAA) 新美 惣英

2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鈴木健三・菅原 優・永坂誠司・鈴木宏枝



このころの中を見つめよう 博愛を広げるために

● 斉 唱

ロータリーソング「手に手つないで」

● 本日のメニュー

季節のお弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

東海東京調査センター

企業調査部名古屋グループ シニアアナリスト 細井克己様



石川春久会長

会 長 挨拶

今日の日曜日に第39回の碧南市民駅伝大会が開催されます。今年は特に出場チームが多く、私共実行委員会も連日連夜の会議で、昨夜でだいたい会議が終わり、当日を迎える運びとなりました。出場されるチームは一般の部が97チーム、小学生の部が37チーム、全チーム合計しますと134チームという過去にない出場があります。これはやはり震災の関係で昨年『絆』という言葉が叫ばれまして、そういった事でタスキを繋いで一層絆を強くしようという意識ではなかろうかと感じております。

特に驚く事は、被災地宮城県塩釜から1チーム参加致します。『今こそ見せよう塩釜のエール』をキャッチフレーズにゼッケンナンバーは55番でございまして、ゼッケンには『ありがとう碧南がんばっぺ塩釜』という非常に目立つゼッケンをつけて頂きますので、沿道で声援を頂ければありがたいと思います。

もう1チームゼッケンナンバー128番ホワイトワイズというチームが出場されます。このチームにお願いしたい事があります。いくら速くても塩釜のチームを抜かないように!!このチームは直前会長の奥田さんが主力で走られるチームでございます。

今回の最高年齢は71歳、続いて70歳、先生は3番目でございます。総距離24.5km、5区間でございます。

先生も区間賞を取る気持ち、ただし塩釜を抜かない気持ちで完走して頂く事を祈念致しまして本日の挨拶とさせていただきます。

幹 事 報 告

- ・ 幹事報告書の通りです。
- ・ 次週3月7日例会終了後第9回理事会を開催致します。



平岩辰之幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者14名の内出席者7名)出席者54名

出席対象者 54/63名	出席率 85.71%
--------------	------------

欠席者17名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%
---------------	---------------

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 倉内 裕君 良い事がありました。
- 清澤 聡之君 先日、加藤良邦さん、亀山裕一さん、長田豊治さんにお世話になりました。
- 新美 雅浩君 下の子どもに良いことがありました。
- 榊原 健君 2月26日碧海6市キャッチネットワーク少年サッカー大会にて、見事決勝で刈谷を破り、2年ぶり3度目の優勝をしました。少しずつ強くなってきています。
- 藤関 孝典君 すこし良いことがありました。
- 堀 敦君 本日の卓話の講師 細井克己様をご紹介します。

卓話

「2012年のマーケットをこうみる」

東海東京調査センター 企業調査部名古屋グループ シニアアナリスト 細井 克己氏

2月以降急激に株式市場上昇に転じております。ただ、日本を取り巻く環境はまだまだ厳しい状態が続いております。その中で株式市場また為替の見方はどうなのかという事を話をさせていただきます。

結論としましては経済環境は厳しいです。ただし世界各国、中央銀行が資金供給をしております。じゃぶじゃぶの金余りの中で株式は強含みであろうという事が結論であります。

日本の企業はこれまで事業転換を行って参りました。

例としてノリタケカンパニー

2008年3月期までは順調に業績が伸びてきましたが、それ以降業績は落ち込みだしてきて、事業構造の転換だけでは限界になってきたというのが、今の現状であります。

そういう中で今日本が求められているのは新しいビジネスモデルへの転換であります。そのためにキーワードとなるのが、低コストで安い製品をいかに作るかという事だと思えます。新興国も所得水準は上がってきておりますが、まだまだ価格の高い製品は売れません。

これからの展開としては、先進国で求められている高機能ではなく、ある程度の機能性を持った製品をいかに安く作って、それをいかに提供できるかという事がポイントであり、低コストの生産体制こそが今企業に求められていると考えます。

例としてリンナイ

今後の為替の動向としては1ドルに対してもう一度75円に動いてその後緩やかな円安になるであろう。年末には85円～90円に近い水準で予想をしております。

ユーロにつきましては、1ユーロ100円割れをしていましたが、足元は108円近辺でややユーロ安に動いております。再び100円～105円の円高ユーロ安になるであろうと見ております。6月以降に底入れして年末に向けてユーロが反発し、1ユーロ115円近辺になるのではないかとというのが私の予想であります。

続きまして株式市場は強ぶれ状況だと思えます。1月から5月にかけて米国株は強含みという考え方です。



細井 克己氏

日本株はどうかという事ですが、日本株を買っているのは外国人であります。日本のマーケットはグローバル化してグローバルな水準になったという事で日本株は日本独自の気運で動かない。外国特にアメリカの株式市場が上がらないと日本株は上がりませんというのが基本的な考え方です。アメリカの大統領選挙を控えてアメリカの株式市場は強くなると思われますので、日本の株式市場も強いというのが結論です。

日本株の中で何を買ったらいいかと申しますと、復興需要はこれからですので、復興に関したものがこれから注目株ですよというのが私の結論でございます。

ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内 平成24年3月14日(水)
**卓話「アメリカンフットボールの日本における現状と、
アメリカンフットボールの魅力」**
東京海上日動あんしん生命保険(株)名古屋支社 ライフパートナー 永井 宏幸氏